



祝
卒業式



「わたしは、あなたを胎内に形造る前から、あなたを知り、あなたが腹から出る前から、あなたを聖別し、あなたを国々への預言者と定めていた。」(エレミヤ書1章5節)

CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院

2020年4月・5号 NO.179



＜学院特別講義＞

エレミヤの召命から学ぶ、キリスト者の歩み。

「知り、聖別し、 定めていた。」

米村 英二 師

熊本県、大津キリスト教会牧師
学院顧問



「わたしは、あなたを胎内に形造る前から、あなたを知り、あなたが腹から出る前から、あなたを聖別し、あなたを国々への預言者と定めていた。」（エレミヤ書1章5節）

これはエレミヤが、預言者としての召しを受けた時の神の言葉です。神は、エレミヤが母の胎内に形造られる前から彼を知り、聖別し、預言者となるように定めておられたとあります。「知る」「分ける」「定める」この3つの表現は、神がエレミヤの生涯にどのように関わってこられたかをよく語っています。そしてこれは、エレミヤだけでなく、私達一人一人の人生にも深く関わって下さっている事です。先ずクリスチャンになるという事は、エレミヤ同様に神に召されるという事なのではないでしょうか。従って、私達の人生も神に知られ、分けられ、そして、定められているのです。

1. 神に知られている

第1に、「神に知られている」ということについて考えてみましょう。幼い頃の私はいうまでもなく親に頼りっきりで、親という存在は自分の事を最も良く知ってくれているように思っていました。しかし私が成長するにつれて、だんだんと親には分らない世界が、私の心の内に広がって行ったのが分りました。私とは誰なのか？私の事を本当の意味で知っている人は何処にいるのであろうか？そう考えると、私はいつも孤独を感じていました。しかしクリスチャンになって、

私の存在の起源が、肉の父や母よりずっと遡（さかのぼ）って神にあり、そして、その方が私の本当の父である事を知りました。私はこの世に偶然に生まれて来たのではなく、私を良く知るその御方から出て来たのです！この思想ほど私を慰めてくれたものはありませんでした。

アメリカから帰ってきた長女が、礼拝で、「人とは、何者なのでしょう。あなたがこれを心に留められるとは」という詩篇の8篇の4節の御言葉から自分の信仰について話してくれたことがあります。長女は言いました。「どうして自分のような者と思うけれど、何故か神は、私に心を留めて下さったのです。アメリカに行き、初めて集った教会で、私は心細く、寂しい気持ちで椅子に一人座っていました。そうしたら私の隣に、一人のアメリカ人女性が座りました。そして日本人である私を見て、その女性は言いました。『私は長く中国の大学で英語教師として働いていましたが、親しくした日本人が、一人だけいました、その日本人の名前は「しおり」と言いました。同じ大学で彼女は日本語を教えていたのです。』」長女はそれを聞いて驚きました。何という偶然でしょう！広い中国でその女性が知っていた、たった一人の日本人が、実は、長女が子どもの頃から姉のように慕っていた、あの「しおりさん」だったのです！長女は

その時思いました。「神様は生きておられる！そして私を導いてくださっている！」こうして長女の心はとても慰められたのです。このように、我々は母の胎内に形造られる以前から、神に知られているのです。ミケランジェロが一塊の大理石の前に立ち、その大理石に、最初のみを入れる前に、あらかじめ造られるべき、モーセやダビデの理想像を心に思い描いていたように、神は、私たち一人一人の人生の構想を、その心に思い描き、長い間それを温め、そうして最後に、私達をこの地上に誕生させられたのです。

「神よ、あなたのもろもろのみ思いは、何と私に尊いことでしょう。その全体は広大で、私がそれを数えようとすれば、その数は砂よりも多いのです」(詩篇139篇17節・18節口語訳)と、詩篇の記者は言いますが、私達がかけがえのない存在であるのは、神が、一人一人の為に、測り知れない程の思いを、注がれたからではないでしょうか。誕生したばかりの赤ん坊を、親たちが慈しむのも同じ理由によるのです。親たちは10ヶ月もの間、多くの愛情を持って、胎内の子を思い巡らしていたのですから。

2. 聖別されていた

第2に、エレミヤは、神によって腹から出る前に「**聖別されていた**」とあります。「聖別」とは、聖い用途の為に取り分けられるという意味です。ですから人はみな、特別な使命、つまり成すべき事を持ってこの地上に生まれてきたのです。私の人生の見方を大きく変えたのはその思想でした。私は前には、自分のやりたい事をやるのが人生だと思っていました。そして、私の悩みとは、自分のやりたい事がやれないことでした。「上の学校へ進みたい。」しかし、家が貧しくて、それが出来ない。「私が不幸なのはその為だ。」以前、そんな思いで悶々としている私を見て、宣教師は私にこう尋ねました。「米村さん、鉛筆と冷蔵庫とでは、どちらが値段が高いですか？」「もちろん冷蔵庫です。」と私が答えると、宣教師は言ました。「米村さん！けれども、値段は安くても、鉛筆には鉛筆にしかできない仕事があるのですよ。」その時、私は思いました。「そうだ！僕も鉛筆になろう。どんなに値段は安く、小さな存在でも、自分にしかできない仕事がある。それをしよう。」それで私の方針は固まりました。人生とは、やりたい事をやるのではなく、やるべき事をやる事だったのだと理解したからです。やりたい事はいつも遠くにあるのですが、反対にやるべき事は、多くの場合、すぐ近く

にあるのです。そして、それは朝ごとにやって来るのです。何か夢のような事をやろうとするのではなく、既に与えられている事をやれば良いのです。カーライルが言ったように、「自分の仕事を知り、それをなせ。」です。「大事業とは、遠く離れた所におぼろげにあるものを見つめる事ではなくて、手元にはっきりとある事を行なう事である。」と言ったカーライルの言葉は、人生に悩んでいた若い医者オスラーに大きな光を与えました。彼は後にこう語っています。「ごく平凡であったが、このことばは私の胸を打ち、私の脳裏を離れず、私の役にたってくれた。この言葉を契機に、私は自分に与えられた才能を最大限に生かす習慣を持つに至ったのです。その習慣とは、明日を思い煩わず、過去を忘れて、今日を生きるという習慣である。」私にとっても、この原理は大いに役立ちました。神が私の走るべき行程を定めておいてになるのなら、成すべき事は一つです。その道を真っ直ぐに歩めば良いのです。もう遠くを見る必要はありません。過去を振り返る必要もありません。目の前にある今日の仕事に、全力を投ずれば良いのです。

「子は、父がしておられることを見て行なう以外には、自分からは何事も行なうことができません」(ヨハネ福音書5書19節)と言われたイエス様も、神から与えられたことを日々行なっておられたのではないのでしょうか。私達も、イエス様にならえば良いのです。こう決断した時に、私の生活はシンプルになり、今、何をすべきかが分り、より行動的になったのです。

では、与えられた今日の仕事をどう行なったらよいのでしょうか。ヒルティの助言はこうです。

第1に、思い切って始める事。

第2に、事を延ばさない事。

第3に、毎日一定の時間をその仕事にささげる事。

第4に、もっとも手のつけやすい所から始める事。

第5に、ただ今日の為に働くという習慣を身につける事。

第6に、力を節約し、本当に大切なものにそれを集中させる事。

重大な使命を帯びた人は、ある意味でみな禁欲的でした。寄り道をしません。あれにもこれにも手を出しません。ただ一つの事をするのです。アンドレ・モーロワ(フランスの小説家、伝記作者、評論家。)も「仕事の仕方」についてこう言っています。「働く者すべてが守るべき共通の心得がある。その第1は、いくつかの可能な仕事のうちから、一つを選択することである。」エレミヤも神の言葉を語るという1つの事に身を捧げた人でした。時には、それが辛く、もう主の名で語るまいと思った事もありました。しかし、

「主のみことばは私の心のうちで、骨の中に閉じ込められて燃えさかる火のようになり、私はうちにしまっておくのに疲れて耐えられません。」(エレミヤ書20章9節)と語っています。こうしてエレミヤは最後まで神に心を奪われた人として生きたのです。

3. 定めていた

第3に、神はエレミヤについて言われました。「あなたを国々への預言者と定めていた。」(エレミヤ1章5節) 彼がどんな人生を送るかを神が定めておられたというのです。「あなたの人生は定められている」と言われると、私達は、そういう宿命論的考えに戸惑いを感じます。そしてこう思います。「自分の人生の進路はやはり自分で考え、自分で決めたい」と。しかし全ての事を自分で考え、自分で決めなければならないとすると、それもまたけっこう骨の折れる仕事です。

私は、バイキング料理は、個人的には好きではありません。料理の種類が多すぎて選ぶのが難しいのに加え、どれだけ食べても値段は同じだと思うと、つい貪欲になるからです。そして、そんな自分が嫌になるからです。それでも自分の好きなものを好きなだけ食べて良いというバイキングは、広く、そして多くの人に歓迎されています。私が最初にバイキング料理を食べたのは、20代の最初の頃で、丁度、イギリスへ向かう旅の途上でした。立ち寄ったバンコクの高級ホテルでの事でした。私が乗ることになっていた飛行機はバンコク発で、アジアで働く宣教師たちを運ぶチャーター機でした。宣教師たちは、いろんな国からバンコクに集まり、ホテルに一泊して、翌日の夕方に、ヨーロッパに向けて出発する事になっていました。当時は今とは違い、日本の食生活は、まだつつまし状況でした。ところがその夜のホテルの広い会場には、おびただしい数の豪華な料理が、所狭しと並べられていました。しかも好きなだけ食べて良いというのです。私はとても驚き、途方に暮れました。どこから、どう手を付けてよいのか分らなかったからです。でもその時、ふとひらめきました。「そうだ！今、一緒に働いている宣教師の後について行けばいいんじゃないか。」その宣教師は、若い頃オランダで高級ホテルのシェフをしていました。いわば料理のプロです。彼なら、どんな贅沢な食事も、ど

ういう順序で食べたなら、それを最も良く味わえるかを知っているはずだからです。こうして私は、すべての選択を彼に委ねました。結果は、完璧な程に満足でした。人生の選択も同じだと思います。自分でやるより神にやっていただく、そして神が選んでくださった道を歩むのです。それ以上に安全な道があるでしょうか？いや、実のところ自分の人生を振り返って思う事は、自分が選んだと言えるものが、どれだけあったかと言う事です。私が何時、何処で、誰を親として生まれるかは、私が決めたことではありません。それは全く神の一存による事でした。その後も、多くの事が自分を越えた別の力によって決められて来たように思われます。ただ多くの人は、神が選んでくださったその道が不満なのです。しかし、いずれ明らかになる事は、今は不満でも、結局は神が選んでくださった道のほうが、最も良かったという事実です。

『夜と霧』の著者 فرانクル はどのようにして、あの過酷なアウシュヴィッツの収容所をくぐり抜けたのでしょうか。彼が精神的に崩壊しなかったのは、1つの原則が彼にあったからだと言えます。その原則とは、「自分が運命の主人公になるのではなく、運命のままに任せる。」というものでした。ある時、別の収容所への移動の希望を聞く時がありました。得られた情報によると、労働条件ははるかに別の収容所の方が良いものでした。フランクルは迷いました。しかし彼はここでも、「自分では選ばない。」という原則を変えませんでした。その結果、喜んで別の収容所に移動した者が、皆、ガス室に送られたということを知ったのは、それから、間もなくの事でした。

フランクルは、自分の原則の正しさを、ここでも確認したのです。「何が良くて、何が悪いのかの未来を、どうして、ちっぽけな人間などに、読み取る事が出来るのだろうか？」これが、彼のたどり着いた結論でした。フランクルは、このように結論を出し、もはや自らの人生に於ける様々な決定や決断を、自らはせず、全てを神の御手に委ねたのです。

エレミヤも、自分ではなく、神が定めた人生を最後まで生きました。それは、必ずしもこの世の幸福と言える人生ではありませんでした。しかしながら、確かな事は、後世に、「何かを遺す人生」でありました。それは神が、エレミヤの人生を、かけがえのないものとされたからです。(終)

予知 YFN2020

開催のお知らせ!



■「YFN2020」のテーマは、民数記13章30節より、「未踏 - 必ず打ち勝つことができる。」です。主は、次世代に戦いを教え、勝ち取るべき領域を与えようとしています。主の約束された領域を受け取るために、共に未踏の地へ足を踏み入れる YFN キャンプへ、ぜひ、ご参加ください。

●ゲスト・メッセンジャー
中山 有太 師
イエス・キリスト神の愛教会
牧師・シャインチャーチ牧師



●プロフィール：賛美の作詞作曲を手掛け、これまで多数のワーシップCDを製作。日本各地で礼拝を導き、賛美奉仕者のティーチングなども行う。東北で8年間、東北中央教会、Praise Stationなどに従事し、2015年より福岡に移り、イエス・キリスト神の愛教会牧師として就任。現在はその枝教会の開拓を始めている。妻、長男、長女の4人家族。シャインチャーチ牧師。拡大宣教学院卒。

●日程／ (2泊3日)
5月4日(月)～6日(水)

●尚、新型コロナウイルスの影響を考慮し、変更、延期、もしくは中止となる場合がありますので、詳しくは、WEBをご確認ください。

<https://cfnjbs.wixsite.com/yfnjapan>
YFN ディレクター 坂本清憲

CD販売・刊行物

●お申し込みは/学院事務局まで
※サンプルは、下記のページで聴くことができます。
<http://www.cfnj.com/media.html>



「神の指がふれた時」
定価/1枚(CD)
(送料別) **700円**



「神のみことばのいやしの力」
定価/1枚(CD)
(送料別) **1,000円**

CFNJ小冊子
無料プレゼント!



●お申し込みは/学院事務局迄

- 「聖霊のバプテスマを受けるには」 (ゴードン・リンゼイ著)
- 「いやしの信仰」 (ゴードン・リンゼイ著)
- 「山をも動かす祈り」 (ゴードン・リンゼイ著)
- 「主の恵み尽きることなく」 (鍛冶川 紀子著)

■学院ゲスト講義 どうすればもっと喜びを発見できるか？



「神様の喜び」②



グラント・マレン師

●カナダ在住。精神衛生を専門とする医師。医者としての立場から心の束縛の鎖からの解放について教える。著書「こころの解放」。



1. 自分を変える事

私たちのミニストリーのテーマは、ローマ書12章の御言葉にあります。

「この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。」(ローマ人書12章2節)

私は教会で育ちましたから、この御言葉は、何度も聞いてきました。でも今まで誰も、どのようにして自分を変えるのかという疑問に答えてくれた人はいませんでした。多くのクリスチャンは、御言葉を聞いてはいるけれど、それをどのように自分自身に適用したら良いのか分らないのです。ですから、ここで自分をどうやって変えていくのかというモデルを、皆さんに紹介したいと思います。

2. 過去の出来事と、その解釈。

聖書では、人間には「3つの領域」があると言っています。私たちの「身体」は、この地上と繋がっているものです。私たちの「霊」も又、見えない世界と繋がっています。そして、私たちの「人格」も私たちのまわりの人と繋がっています。では、このあなたの「人格」というのは、どんなものから成り立っているのでしょうか？それは2つのものからです。

1つ目は、あなたの「過去の出来事」です。そして2つ目は、その出来事に対する「あなたの解釈」

です。この2つは私たちの人格に影響を与えるものです。そしてこの2つの中で重要なのは過去に起こった出来事よりも、その出来事をどのように解釈したかという事です。解釈はとても大切な鍵となります。例えば、二人の人が同じ体験をしたとします。しかし、同じ体験をしていても、その事に対する違った解釈をする事ができます。簡単な例は聖書の中にあります。12人の斥候がカナンの地に入った箇所です。(民数記13章1節～33節) この人たちは皆、同じ経験をしました。しかし12人の内、2人は他の10人と違った解釈をしています。私たちの人生も同じ事です。2人の子供が同じ体験をしても、片方が何も感じなくても、もう片方の子供はその事で深く傷つくという事が実際に起こるのです。ですから過去の出来事や事実をどのように解釈していくかということが、私たちの人格を形作っていくのです。

3. こころの袋

この2つを私は、「こころの袋」と呼んでいます。その袋は小さい人もいれば、又、大きい人もいます。それは自分がどう様な人生を歩んできたかという事に関係しています。例えば、大きい袋を抱えた人の事を考えて見ましょう。ここに過去にとっても痛々しく、悲惨な人生を歩んで来た人がいたとします。この人は、自分の過去に対して否定的な解釈をしています。「自分は悪い人間だ！」「他の人より自分は劣っている！」又、「私は愛されるの価値などないのだ。」

など自己評価も低く、自信もありません。その結果、周囲の人ともあまり関係が良くありませんでした。でもこの人が、自分の罪を悔い改め、イエス様を主と告白して救われます。では、この人が救いの祈りをした後の、彼の3つの領域はどうなるでしょうか？先ず彼の「霊」は、どうなるでしょうか？彼の「霊」はその持ち主が変わります。暗闇の王国から光の王国へと移されます。彼の「身体」はどうなるでしょうか？皆さんがクリスチャンになった時、皆さんの肉体はどうなりましたか？そうです、何も起こらなかったと思います。しかし聖書では、いつか新しい体を頂くと書いています。だいぶ後になりますが、誰も急いでその体を欲しいという人はいなさそうですね。では救われた時、この抱えている袋はどうなったのでしょうか？傷ついた「人格」はどうなったのでしょうか？救われた瞬間に、「人格」は変わりますか？もちろん変わりません！その人格を背負って、救いにあずかるわけです。過去の全ての重荷を背負い、人は救いへと入れられるのです。私の育ったクリスチャン文化では、そのこころの痛みの上に、新しいクリスチャンの服を着せて、さも袋がないかのように振舞うわけです。そして、「クリスチャン人生は素晴らしい！」と言いつつも、この袋をどうしてよいのか分らず、誰かが「とにかく聖書を読んで祈りなさい！」と言っているだけで、誰もこの袋を正しく処理出来ないままです。

4. どう判断するのか？

ですから今回は、簡単な判断方法を教えます。皆さんはどんな事にも、過去、一度も過剰反応をしたことがないという方はいますか？もしあなたが過去、過剰反応をしたのなら、それは何かしらの袋を抱えているという事です。あるいは、感じるべき時に感じないなど不感症となっている事はありますか？袋を一度も取り扱った事がないとしたら、皆さんはこんな感じかもしれません。これは悪魔が望んでいる事です。何故なら、クリスチャンがこのような歩んでいる事が、自分の王国に脅威を及ぼさない事を知っているからです。こんな姿で歩んでいるのは、この世の人と、あまり変わりがないからです。でもこの人が正しく袋を処理して、その結果、自分の心が癒され、真っ直ぐに歩き出して行くならどうでしょう。そして、聖書の御言葉をどのように取り扱うか知り、神の武具の使い方を理解し、自分の賜物、自分の大切な召しを知って、更に、油注ぎを受け、聖霊様によって歩みだしたなら、どうなるでしょうか？このような人の人生は、変わるでしょうか？又、このような人の伝道の効果が変わってくるでしょうか？もっと喜びを持つようになる

でしょうか？夫婦生活や人との関係が良くなるでしょうか？ハイ！そうなります！このようにして変えられた人をこの世の人たちが見るなら「私もあなたのようにになりたい！」と思うのではないのでしょうか？ですから悪魔は、クリスチャンがこのような袋を処理し、真っ直ぐに歩み出す事を恐れているのです！なぜなら悪魔は、クリスチャンが袋を下ろして、自分の道を真っ直ぐ歩いているのを止める事が出来ないからです。ですから袋を抱えた姿のままで、クリスチャン生活を歩んで行く事は神様の御心ではありません。

5. 人が袋を手放さない理由

では何故？多くのクリスチャンが今も、その袋を抱えた姿で歩んでいるのでしょうか？その第1の理由は、「否認」です。「認めようとしなさい」又は、「話そうとしなさい」という事です。「そんな袋なんてない！」という振りをします。救いの時に、「そういった袋はなくなった！」という振りをします。だからそれについては「何もなくてよい！」と言います。しかし、それは悪魔からの偽りです！その偽りを信じて、袋を抱えている事が悪魔の狙いです。自分が認めようとしなさいなら、決して問題から癒される事はできません。イエス様はこの地上に、私たちが自由とされる為に来られたはずです。そして更に、第2の理由は、自分で、「良くない選択」をしているという事です。自分から選び取っているのです。その袋を抱えて歩く事は、自分を変える事をせず、人を変えようとする事です。いつも怒ってイライラして文句を言って過ごす事



です。このような選び取りは、天国には行けますが、一生涯この事で戦っていかなければなりません。しかしそれは神様の御心ではありません！私の意見ですが、このような事で教会のリバイバルが止められているように思います。多くのクリスチャンが傷ついて、どうしたらよいのか分らずにいます。先ずそれを理解するためには3つの領域を理解する必要があります。これは癒しのプロセスでもあります。3つの領域は「悪魔の攻撃」、「過去の傷」、「気分障害」からなってい

(次ページに続く)

ます。この3つが私たちの癒しの鍵となっています。そして皆さんの喜びを奪っている主な原因ともなっています。まず、「霊的な攻撃」というのは私たちの喜びを奪います。悪魔は、私たちの思いを攻撃します。そしてその場合、「過去の出来事」を利用し、又、それを通して喜びを奪っていきます。そして最後に私たちの「体の状態」が、私たちの喜びを奪っていきます。これは「メンタルヘルス」、「気分障害」といった問題です。それぞれが3つの領域に対応しています。そして悪魔はこの3つの領域に働くのです。しかし神様もこの3つの領域を通して、あなたを救いたいと願っておられます。



6. イエス様の元に袋を差し出す

クリスチャンにはもっと良い選び取りがあります。それは「イエス様にこの袋を処理して頂く」という事です。

「神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。(ヘブル書4章12節)

神のことはと聖霊の力によってあなたのこころを神さまは癒す事が出来ます。この袋が空になると悪魔のささやきを止める事が出来ます。いつも悪魔は私たちに悪い考えを入れてきます。しかし、この袋の中身が空になると、悪魔の武器を取り上げる事になります。そして、悪魔が偽りを通してあなたの人格を傷つける代わりに、「私たちが本当は誰なのか？」そして、「イエス様がどのように私たちを見ているか？」という真理を見つける事が出来ます。それが「こころの癒しの祈り」、聖霊様がエリヤハウスのようなミニストリーの祈りの効果です。エリヤハウスのミニストリーを通して、「どのように祈るか？」、又、「この袋の中身をどのように空にするのか？」という事を導いて助けてくれます。祈りのミニストリーを受けた後、内側で大きな変化があると思います。

「私たちは肉にあって歩んではいても、肉に従って戦ってはいけません。私たちの戦いの武器は肉のものではなく、神のために要塞を打ち倒す力があるものです。私たちはさまざまな議論と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち倒し、また、すべてのはかりごとを取り押さえて、キリストに服従させます。」(2コリント10章3節～5節)

私たちの霊的な戦いの中で、もっとも有効的な武器は、「赦し」と「悔い改め」です。祈りのミニストリーなどを通して、どのように悔い改めて、赦すかという霊的な武器をどう使うかを教えてください。

「神の国はことばではなく、力にあるのです。」(1コリント人4章20節)

ことばだけでは人を変える事は出来ません。変革は聖霊の力によることです。ですからリーダーとして、私たちの役割は、人々を変える事の出来る神に繋げる事が重要です。もしかしたら、あなたは背負う必要のない重荷を運んでいるかもしれません。しかし、神様は、ロケットミサイルのような乗り物に乗って「スピードアップしましょう！」と言っておられます。私たちの変革の鍵は、私たちの抱えている袋を、イエス様の前に持って行き、そして、処分してもらう事です。しかし、私たちが自らイエス様に「してください！」と言う許可を出さなければなりません。あなたがイエス様に「自分の罪」を明け渡すのと同じように、イエス様は、あなたの「袋」を、私(イエス様)の元に持ってきてくれることを待ち望んでいるのです。(終)



グラント・マレン師の学院での授業風景。

CFNJ 特別講義 ゲストスピーカー

●ゲストスピーカーの講義は、どなたでも聴講できます。聴講は無料です。(席上献金あり。一部授業は有料。)又、各コースの授業も聴講可能です。(有料)詳しくは学院事務局迄お問い合わせください。

**無料体験入学
実施中!**
平常授業のある3日間(3泊4日)
※詳しくは事務局まで。

2020年度1学期

授業カリキュラム スケジュール

2020年4月13日(月)~7月3日(金)迄

「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です」
(詩篇119篇105節)



中山有太師

●イエス・キリスト神の愛教会牧師 / シャインチャーチ牧師。YFN2020 メーンメッセンジャー

YFN ゲスト
5/8 1・2時間目
(YFN が開催中止の場合は講義はありません。)



有賀喜一師

●伝道者、神学校教師。学院顧問。

5/25-26 3時間目
27~29 2-3時間目

1・2年コース (必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 AM 8:45-9:40	新約聖書概論(1) 金聖圭	チルドレンズ ミニストリー アルマ・ベルメホ	宣教の心 菅原真一	幕屋の学び 松原望	詩篇の学び 田中博
2 AM 10:00-10:55					
3 AM 11:05-12:00	日本教会史 鍛冶川利文		真の礼拝者 鍛冶川紀子	山上の説教(1) 鍛冶川利文	

アルプスコース (必修科目)

1 AM 8:45-9:40	クリスチャン リーダーシップ 長沢克己	牧会カウ ンセリング 小業昭夫(1)	祈り 田中博	ヨブ記 (1) 石田吉男	執り成し 岡田好弘
2 AM 10:00-10:55					
3 AM 11:05-12:00	弟子訓練 金聖圭	海外宣教 アルマ・ベルメホ	弟子訓練 金聖圭	聖書釈義(1) 松原望	

選択科目

午後 AM 13:00-15:00	ドラマクラス 神宗雅 昇平	英語クラス クリス・ドベリ	実習 (必修)	ドラマ演劇 クラス 鍛冶川紀子
	タンパリンクラス 鍛冶川紀子			



デイビッド&ドナ・ ブランチャード師夫妻

●ビクトリアス・クリスチャン・ハーベスターズ(VCH)創設者。ラテン・アメリカを拠点にミニストリーを展開する。

5/25-26 1-2時間目



ブルース・ビリントン師

●教会とビジネス(マーケットプレイス・ミニストリー)の両分野で、主にリーダーたちへのコーチとメンターとして働きを展開している。ニュージーランドのアップパーハット在住。

6/29~7/3 1-2時間目

新型コロナウイルスの影響により、日時や規模を変更するも、主の恵み溢れる式となりました！

卒業式

「わがたましいよ。主をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ。聖なる御名をほめたたえよ。わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」(詩篇103篇1節・2節)



■2020年3月4日(水)午前10時30分より、「2019年度、卒業式」が執り行われました。新型コロナウイルスの影響で、ゲストメッセンジャーや、来賓のご家族が北海道に来る事が出来ず、開催事態が危ぶまれましたが、当初の予定を2日早めて、時間や規模も短縮し、マスク配布やアルコール消毒など、いつもとは違う緊張した雰囲気の中での卒業式の始まりとなりました。しかし、このような状況にもかかわらず、式の中では6名の卒業

生たちが、今までの学校生活の喜びや試練などを話しながら、主が良くしてくださった数々の恵みを証しする、感動と祝福に満ちた素晴らしい時となりました。覚えてお祈り下さった皆様に心から感謝を申し上げます。又、来ることが出来なかったご家族や諸先生方、母教会、奉仕教会の皆様、更に、これまでご支援下さった方々にも、心からの感謝を申し上げます。この日旅立った6名の卒業生の為に、続けてお祈りをよろしくお願いいたします。



■ハレルヤ！主の御名を褒めたたえます。3年間守られたことを感謝します。このCFNJ 聖書学院での3年間は、私にとってかけがえのない3年間でした。私は、愛する事を学びました。神様との交わりの中で神様が喜んでいる事を知りました。神様を愛する事は、神様を喜ばすこと。隣人を愛することも隣人を喜ばすこと。その喜びが自分の喜びになるのです。これからは、弱い人達に寄り添い、イエス・キリストの香りを放つ者になりたいです。愛の冷えて行くこの世に、神様の愛を届ける者になりたいです。

●3年アルプスコース卒業 山谷 秀和



■ハレルヤ！主の御名をあがめます。今回 CFNJ 聖書学院を卒業出来るこの主の恵みを感謝し、また支えて下さった先生方、学生の皆さんに感謝します。この聖書学院での3年間の学びはとても濃く、とても自分にとって良いものとなりました。ここで学んだことを生かして、これから教会に仕え働いていきたいと思えます。皆さん本当にありがとうございました！主に栄光をお返しします。

●3年アルプスコース卒業 本間 大聖



■ハレルヤ！主の御名をほめたたえます！3年前の入学時はあまりに悲惨な目に娘達とあい、重症のパニック障害になり、精神病院に入院しなければならなくなった時に主から娘達と学院に入学し家族寮に住むよう命じられました、主のお言葉に従い入学したおかげで、娘共々癒され回復し沢山の愛と奇跡を体験しました。大きな愛でいつも包んで下さった紀子先生と利文先生、また先生方や兄弟姉妹たちに心から感謝致します。私の様に学院入学を主に語られた人がいるならどんなに難しい状況だったとしてもぜひ主に従ってほしいと心から願い祈ります。学院は愛そのものでした。ありがとうございました。

●3年アルプスコース卒業 船曳 恵美子





■この2年間で私は180度と言っていいほど変わりました。まず最初に変わったことは、神様の愛を知れてもっと人を愛せるようになりました。そして自分が知らなかった神様を知ることができました。クリスチャンホームだったのに、自分は全く神様を知らなかったと気づかされました。この2年間でその神様をもっともっと知れて本当に感謝しかありません。学院での生活も辛い時もありました。しかし、そういった時でも神様は働いてくださり、紀子先生を通して、励ましをいつも受けていました。紀子先生に本当に感謝しています。これからも学院で学んだことを忘れずに、地元でも、神様の御心を行なっていきます。

●2年コース 卒業 **永松 ジュリア ユカリ**



■学院生活を一言で表すならただ主の恵みです。毎日の生活の中に必ず主の取り扱いがあり、新しい発見があり、様々な物事と向き合わざるを得ない環境の中で、大好きな信仰の友と祈り合い、共に成長できる素晴らしい恵みの時でした。主が最初から最後まで私に語られ続けられたことは、ただ主を誇りとし、忠実に、誠実に目の前の必要に応じていくことでした。そして御国の拡大のために共に働く最高の仲間たちに出会えたことが、最高のプレゼントです。主の美しい恵みに感謝します。

●2年コース 卒業 **岩井 裕美**



■この度、晴れて CFNJ 聖書学院を卒業することができました。祈り、支えてくださった、妻をはじめとする家族、母教会、また、奉仕教会の方々、ありがとうございました。また、先生スタッフ、またこれからも学んでいく学生の方々、大変お世話になりました。ありがとうございました。そのほかにも、多くの方々に支えられ、この日を迎えることができました。感謝しています。これからも、神様と共に歩み、行く所何処へでも、主が権威を持って共におられることを人生を通して世に証ししていきたいと思えます。

●2年コース 卒業 **栗原 真実**



アメリカ・ダラス市のクライスト・フォー・ザ・ネーションズとの提携姉妹校

ホームページをご覧ください!

cfnj.com
 随時願書受付中!

新入生募集中!

2020年4月、及び、9月(2学期)からの入学。

- アルプスコース(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース ●1学期だけの短期で学ぶ事も可能です。



夏のアウトリーチ



**無料体験入学
 実施中!**

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。



■SNSでCFNJの最新情報を
 ・Facebook: @CFNJBS
 ・Instagram: CFNJ 聖書学院



学院の特徴

- ・臨在溢れる賛美礼拝
- ・御霊に満ちた講師陣
- ・実践的なカリキュラム
- ・国内外のアウトリーチ
- ・独身寮・家族寮完備
- ・アメリカ留学編入制度
- ・多彩な選択課目

選択課目

- ドラマ・演劇クラス
- ピアノクラス
- ワーシップドラムクラス
- 英語クラス
- ヘブル語クラス
- ボイストレーニングクラス

学院の必要と祈りの課題

ハレルヤ!いつも学院を覚えてお祈りくださり、尊い献金をもって支えてくださる皆様、本当にありがとうございます!皆様のご支援に支えられて、学院に与えられた使命を果たすべく、スタッフ一同心を合わせて祈りつつ日々の業務に励んでおります。その中で今、様々な必要を覚えておりますので、下記の祈りの課題を共にお祈りくださり、導かれた方はご支援のほど、よろしくお祈りいたします。

1. 学生数の増加の為。(現在の18名が30名以上になるように)
2. 学院施設の老朽化にともない、修理の費用が満たされますように。
3. 学院スタッフの健康と学生の学び、生活面、経済の必要の為。



宗教学法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157

(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP:www.cfnj.com 郵便振替:02780-4-4688

●e-mail:office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

